

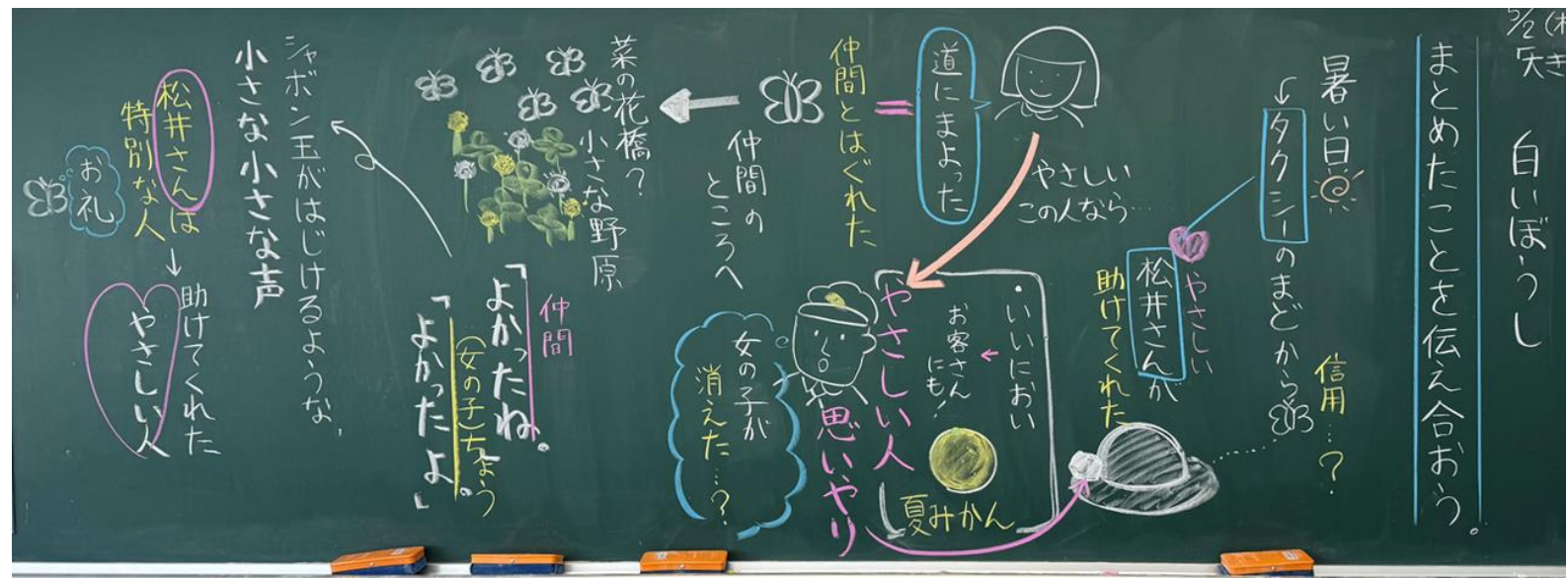
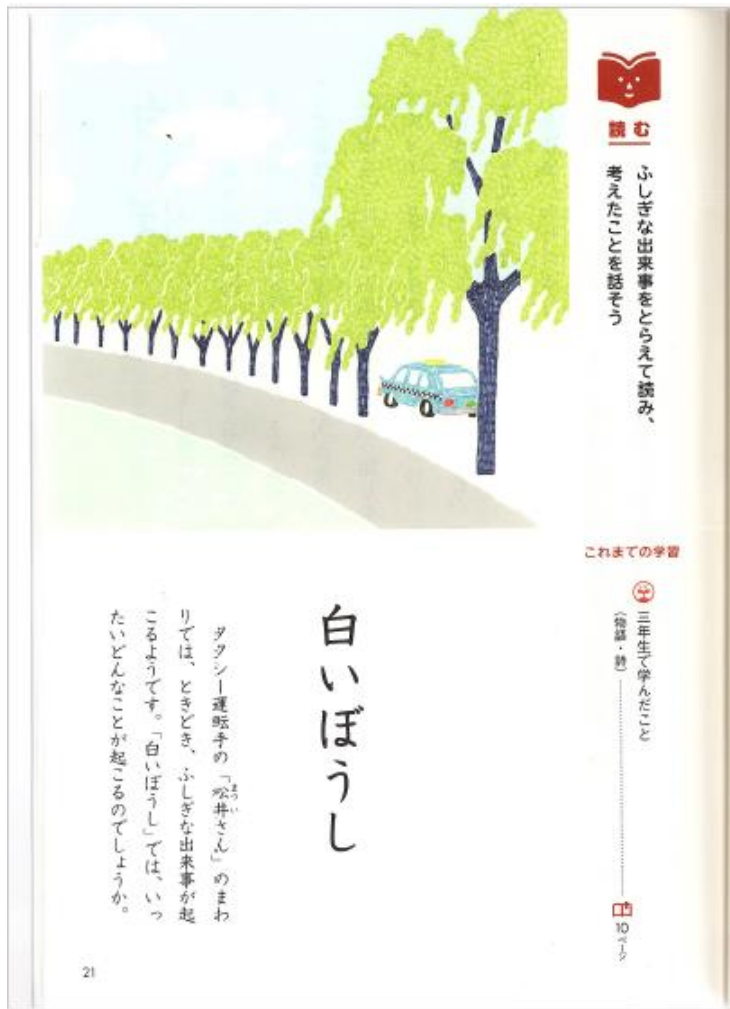
子ども「問い」を軸とした 4年「一つの花」の実践

札幌市立二条小学校 畔川 耕一

2024年8月31日 夏の学習会

児童の実態

4月「白いぼうし」…ふしぎな出来事をとらえて読み、
考えたことを話そう



◎ 自分の「問い」を解決

△ 他者の考えを聞いて考えを深める

今回の実践では…



7月「一つの花」…場面をくらべて読み、
心にのこったことを伝え合おう

【言語活動】

「問い」を解決しながら読み、
感想新聞に自分の考えをまとめる

- 自分の考えの変容を明確に
- 友達との考えの違いも分かりやすく



「一つの花」

今西 祐行 作

1 場面



2 場面



3 場面



- ◆「問い」に対する自分の考えの根拠を見つける
→ 場面を比べながら読む
- ◆「一つ」という言葉に着目して読む
→ 繰り返し出てくる物や言葉について考える

1 / 8 時間目

- ・題名「一つの花」からイメージを交流
- ・範読を聞き、物語の設定を確かめる
- ・初発の感想を書く(心にのこったこと / 疑問)

一つの花 今西 祐行 作
すけゆき

どんなイメージ？

- 。はかない...。心の中の...
- 。部屋にかざってある？
- 。世界に一つのすごい花
- 。公園に咲いている
- 。ぽつんと...。はじっこに...
- 。大切にしている

「輪」はなに？

設定をたしかめて、
初めの感想を書こう。

登場人物

- 。ゆみ子
- 。お父さん ↓ 「一つの花」をわたくし
- 。お母さん

題名

場所

- 家 ↓ 駅 ↓ 小々な家

時代

- 戦争中 ↓ 十年後 ↓ 戦争後

初めの感想

- ①心にのこったこと・感想
- ②気になったこと・きもん

初発の感想を「問い」につなげる

- ① 心に残ったこと／疑問を分けて書く
- ② 一覧にして、次の時間に配付
- ③ 色分けしながら、じっくり読む
- ④ 読んだ感想を交流する

4年1組「一つの花」初めの感想



- なるほど！そんな考えもあるのか！
- : 自分と同じ／似ている考え
- : 自分とはちがう考え
- : よく分からないから、聞いてみたい

【心にのこったこと・感想】

- 「一つだけ」という言葉がたくさん出てくる。
- 戦争中で食べ物がない、大変な時代。
- 「食べる物といえば、お米の代わりに配給される、おみや豆やかぼちゃしかありませんでした。」→かわいそう
- ゆみ子に、もうちょっとがまんしてもらいたい。小さいころのゆみ子は人の心配をしていない。
- 「もう一つ」って、ちょっとするけれど、「いっぱい食べたい。」ということが伝わる。
- 「一つだけだよ。」って、勇気づけられる言葉だと思う。
- ゆみ子は、おにぎりを「おじぎり」と言ってしまうぐらいに幼い。なのに、お父さんが戦争に行くと帰ってこなくてかわいそう。
- 「一つだけちょうだい、おじぎり、一つだけちょうだい。」が印しようにのこった。
- 「ええ、もう食べちゃったんです——。」→自分の食べる分がなくなってかわいそう。
- 「プラットホームのはっぴの、ごみすて場のようなところにわすれられてようにさいていたコスモスの花」→どこにでもありそう。だけど、ゆみ子にとっては大切な花なんだと思った。
- 「ゆみ。さあ、一つだけあげよう。一つだけのお花、大事にするんだよう——。」が心にのこった。いいなと思った。
- お父さんがわたした最後のプレゼントがコスモスの花というところに感動した。
- もう会えないかもしれないから、ゆみ子にわかってほしいと思うお父さんはやさしい人だと思った。
- 「ミシンの音が、たえず速くなったりおそくなったり、まるで、何かお話をしているかのよう、聞こえてきます。」→印しようにのこった。
- ゆみ子がりっぱに育って小さなお母さんになったことが心にのこった。
- 感動するいいお話だった。
- 戦争でお父さんを失ったゆみ子がかわいそう。
- 切ない。
- 戦争がはげしかったころの人の気持ちがよく分かる話だと思った。

【気になったこと・ぎもん】



- なぜ、題名が「一輪の花」ではなく「一つの花」なのか？
- なぜ、「一つだけちょうだい。」とゆみ子が言うようになったのか？**X**
- なぜそんなに食べ物をほしがるのか？**X**
- 戦争に行くときに、ばんざいするのはなぜ？
- なぜ、他の人たちは、かたまっているのに、お父さんだけは家族といえるのだろうか？
- 「まるで戦争になんか行く人ではないかのように。」→お父さんはこわくないのだろうか？
- お父さんは、なぜ、ゆみ子に一輪のコスモスの花をわたしたのだろうか？**！**
- コスモスをもらっただけなのに、どうしてよろこんだのだろうか？
- なぜ、お父さんは、何も言わずに、汽車に乗って行ってしまったのだろうか？
- 「ゆみ子はお父さんの顔をおぼえていません。」→お父さんは、死んでしまったのだろうか？
花をくれたときから、もう会っていない…？
- 「あのお母さんでしょうか。」→お母さんは生きてるの？（せりふがないのがふしぎ）**X**
- ゆみ子は、もらったコスモスの花を、その後どうしたのだろうか？**✓**
- 一つの花=コスモスの花 と 十年後の「コスモスのトンネル」のつながりは？
- 「母さん、お肉とお魚とどっちがいいの。」のせりふは何のために書いてある？
- 「今日は日曜日、ゆみ子が小さなお母さんになって、お昼を作る日です。」→気になる。**！**
分からない。なぜ、この文で終わる？
- 何を伝えたいお話なんだろう？ **●**

なるほど！
そんな考えもあるのか！

自分と同じ／似ている

自分とはちがう考え

よく分からないから、
聞いてみたい

初発の感想一覧

「問い」づくり→学習計画

- ①初発の感想(一覧)をじっくり読む
- ②「問い」の3つの種類を確認
- ③班で話し合っ、て、「問い」を短冊に書く
- ④黒板上で短冊を分類しながら学習計画を立てる

1 場面

なぜ、ゆみ子はそんなに
食べ物もほしがるのか？



なぜ、「一つだけちょうだい」
と言うようになった？



2 場面

他の人達はかたまってゐるのに
なぜ、お父さんだけは、家族
とゐるのだろうか？



「まるで、戦争になんか行く人では
ないかのように。」
↓お父さんは、こわくないの
だろうか？

なぜ、お父さんは、ゆみ子に
一輪のコスモスをわたした
のだろうか？

なぜ、お父さんはコスモスの花
をわたすとき、「一つだけ」
と言ったのだろうか？

なぜ、お父さんは何も言わず
に汽車に乗って行ってしまつた
のだろうか？



解決したい「問い」



3 場面

お父さんは、死んでしまつた
のだろうか？



ゆみ子は、もらったコスモスを
ての後、どうしたのか？

なぜ、ゆみ子の家はコスモスで
いっぱいになったのか？

一つのコスモスと
十年後のコスモスのトンネルの
つながりは？

「母さん、お肉とお魚と
どっちがいいの。」
↓このせりふは何のため？

「今日は日曜日、ゆみ子が
小さなお母さんになって...」
↓なぜ、この文で終わるの？

全体

何を伝えたいお話
なのだろうか？

なぜ、題名が「一輪の花」ではなく、
「一つの花」なのだろうか？



・ 1 場面の「問い」を解決する

- なぜ、ゆみ子はそんなに食べ物をほしががるの？
- なぜ、ゆみ子は「一つだけちょうだい。」と言うようになったの？

一つの花 今西祐行

□ 場面の問いをかい決しよう

ほな
しんが
てそん
のなに
かに食
べ物
を

戦争 がはげしかったころ

食べ物がない

おやつ×

配給

いも
豆
かぼちゃ
しか



いつもおなかを
すかしている。

なぜ「一つだけちょうだい」とゆみ子が
言うようになったのか？

一つだけ
ちょうだい

ゆみ子 ほしががる
もっと
もっと

母

「じゃあね、
一つだけよ。」
母の
ロケせ

※ 自分の分から

何でも
もらえると
思っている

4 / 8 時間目

・ 2 場面前半のお父さん・お母さんの気持ちを読み取る

※子どもから「問い」は生まれなかった場面

→「でも、大事な場面！」という声から、1 時間で扱った

一つの花 今西 祐行

② 場面 (前半)

お母さんとお父さんの
気持ちを読み取ろう。

会話や行動

気持ち

お母さん

「なんてかわいいそうなお子でしょうね。」

「っだけちやうだいと言えは、何でもももうえると思ってるのね。」

戦争
↓ 食べ物 X
多く食べさせてあげたい
口ぐせが...

お父さん

深いため息

両手を出すことも知らずに...

「よろこびなんてっただって...」

おなかいっぱい食べさせたい

楽しいこと X
食べ物以外のことも

「めちやくちやに高い高い」

「どんな子に育つだろう。」

ゆみ子にできるかギョリのことさ...

心配?

しょう来が
楽しみ?



「わらわせてあげたい...」

「せめてよろこばせてあげたい...」

「少しでも...」

・ 2 場面(後半)の「問い」を解決する

- なぜ、お父さんだけは家族といっしょにいるの？
- なぜ、お父さんはコスモスを渡したの？
- なぜ、お父さんは何も言わずに汽車に乗って行ってしまったの？ など

一つの花 今西 祐行

②場面の問いをかき決しよう

(死...?)

もう会えない?

家族 いっしょにいたい

人ごみ ↓ ゆみ子泣く?

他の人達はかたまっているのに、なぜお父さんだけは家族といえるのだろうか?

「まるで、戦争になんか行く入ではないかのように」お父さんはこわくないのだろうか?

ゆみ子のため

↓ たくましい ↑ さみしい

立っている

ゆみ子をあやすため ↓ わらうつ

なぜお父さんは、ゆみ子に一輪のコスモスをわたしたのだろうか?

大事



〇〇な子に育ってほしい

おわかれ
お父さんの健康
ねがい
元気にたくましく
親しまれる
心も

なぜお父さんはコスモスの花をわたすとき、「つだけ」と言ったのだろうか?

コスモス(自分(父)の代わり)

世界に一つ大事にしてね

だからこそ

つだけのよろこび

なぜお父さんは何も言わずに汽車に乗って行ってしまったのだろうか?

「ナンようなら」 ↓ もう会えない感じ...

ゆみ子を悲しませたくない

お母さん ↓ つらくなる?

何も言えなかった?

お父さん
お母さん

自分がのこしたもの

一つの花を見つめながら



・ 3 場面の「問い」を解決する

- お父さんは死んでしまったのだろうか？
- なぜ、ゆみ子の家はコスモスでいっぱいになったのか？
- 「母さん、お肉とお魚とどっちがいいの。」のせりふは何のため？ など

一つの花 今西 祐行

3 場面の問いをかい決しよう

ゆみ子
おぼえて
いません。
知らない？

お父さんは死んでしまった
のだろうか？

戦争
死？

心配
プレゼント



大事に
するんだよー

植えた？
かれた？

ゆみ子はもらったコスモスと
その後どうしたのか？

好きになっ
て

強い花

大事に

なぜ、ゆみ子の家はコスモスで
いっぱいになったのか？

お母さんが

一つのコスモスと
十年後のコスモスのトンネルの
つながりは？



元気に
成長
ゆみ子
コスモス

十年
戦争が終わった

買える時代
つつうの生活
平和

「母さん、お肉とお魚とどっちがいいの。」
↓このせりふは何のため？

今日は日曜日、ゆみ子が
小さなお母さんになって...
↓なぜ、この文で終わるの？

なぜ題名が「一つの花」ではなく、
「お父さん」だろうか？

一つだけの
そんがいに
あげよう
大事に
育てほしい

ゆみ子
一つだけ
ちょうだい

食べ物
かわいそう

「問い」の解決

- ① 解決したい「問い」にネームプレートを貼る
- ② 自分の考えをノートに書く
- ③ 同じ「問い」を選んだ人を中心に自由に交流する
- ④ 話し合っって考えが深まったことを中心に全体で交流する

・感想新聞を書く

上段…自分の問いに対する考え

下段…いちばん心に残ったこと

・読み合って感想を伝え合う

自分の問い

「母さんお肉とお魚どちらがいいの？」
→このせりふはなぜのため？



これは、一言で言うところ
平和になったということ
です。食べる物といえはお米の
代わりに配給される、おいも
や豆やかぼちゃしかありま
せんでした。と教科書の12ページ
に書いてあります。だから
十年後にお肉もお魚も選
べるくらい平和になった
ということの方が残ります。

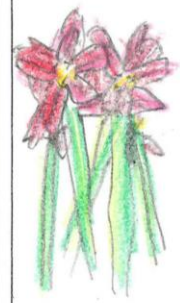


新聞

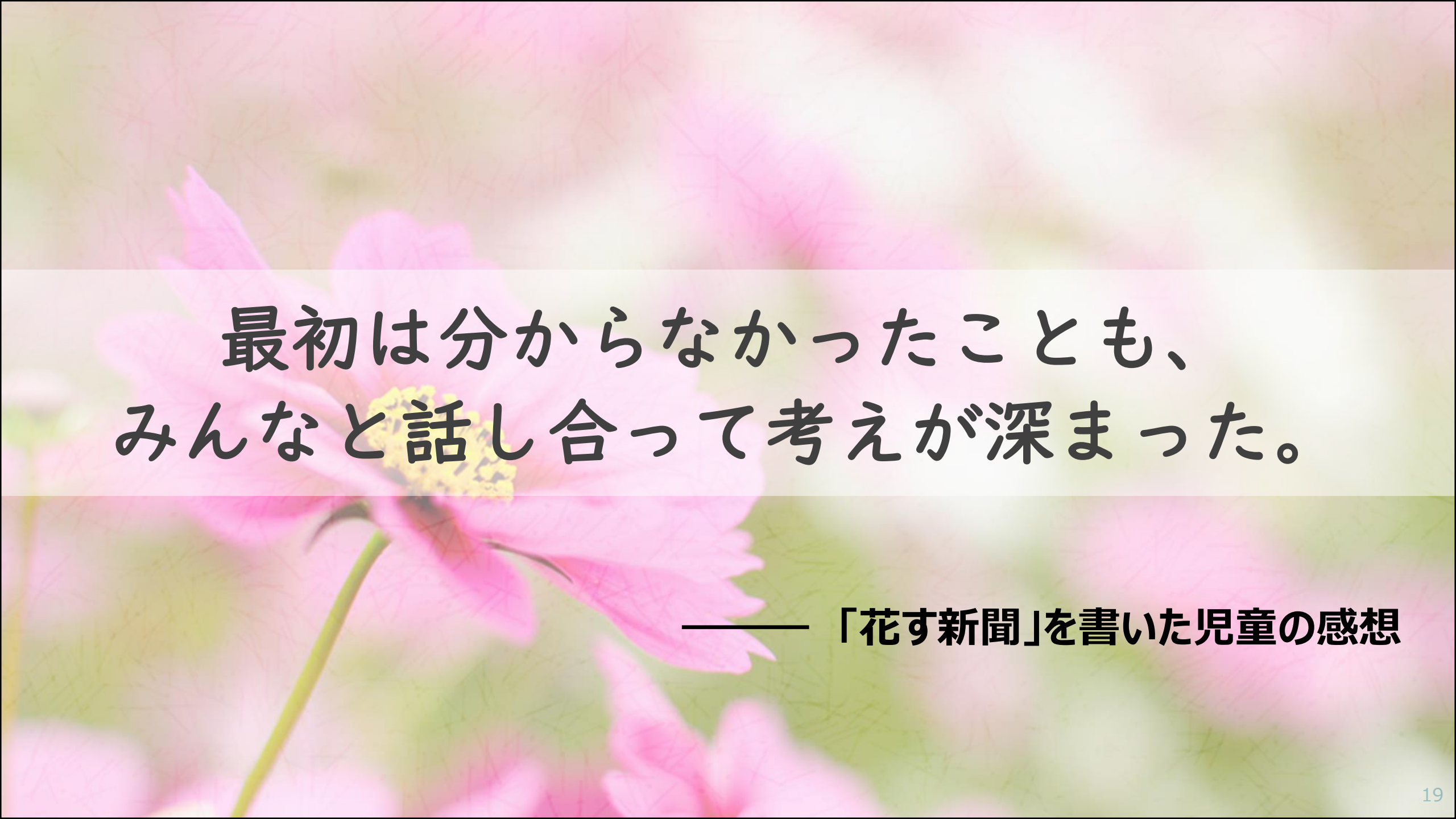
7月19日(金)
発行者

いちばん心に残ったこと

作者の思い



「一つの花の意味は一つ
ありません」
これは戦争で一つしかもら
えないぐるしオです。
二つ目はこの一つの花のよう
に一つよろこびを大事に
するんだよう。という
家族の思いでした。
このことから戦争はよく
ないことだということとくる
しいときでもよろこびを
もって生きてほしいを
という作者の思いが
伝わってきます。



最初は分からなかったことも、
みんなと話し合って考えが深まった。

—— 「花す新聞」を書いた児童の感想

成果

「問い」の解決を軸とした活動構成



「解決したい！」という意欲



見通しをもった探究

「解決したい」を生む

□ 初発の感想をじっくり読み合う

□ みんなで「問い」づくりをする

□ 学習の見通しを明確にする

□ 「問い」の自己選択の場を設ける

4年1組「一つの花」初めの感想

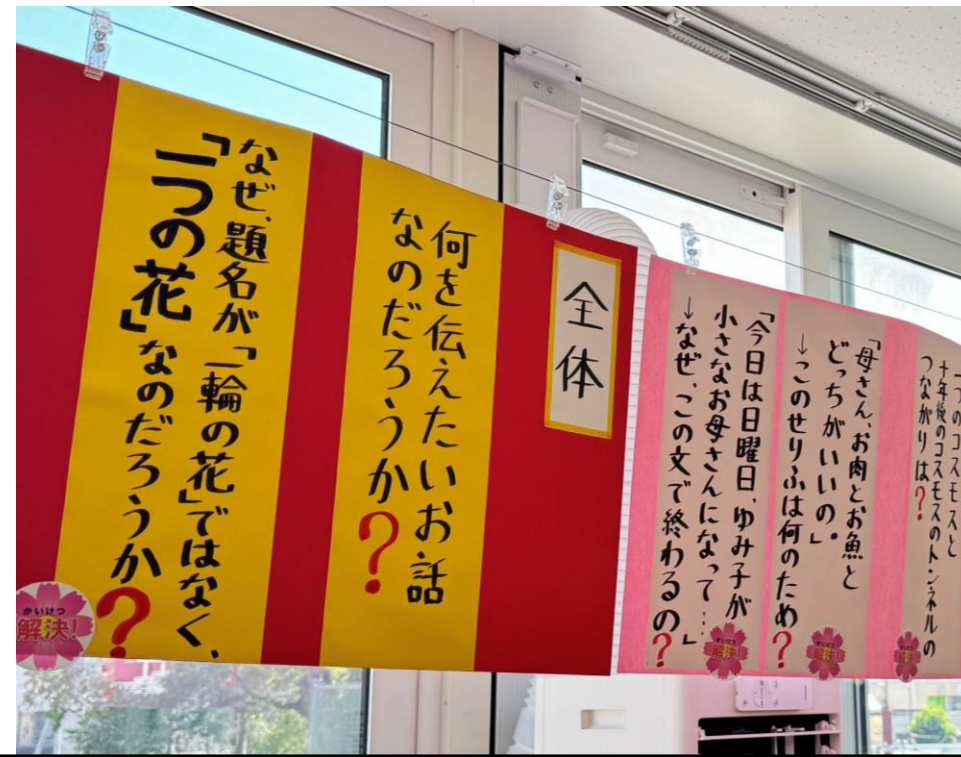
【心にのこったこと・感想】

○「一つだけ」という言葉がたくさん出てくる。
○戦争中食べ物がない、大変時代。
●「食べ物といえば、お米の代わりに配給される、おみや豆やかぼちゃしかありませんでした。」→かわいそう

●ゆみ子、もうちょっとがまんしてほしい。小さいころのゆみ子は人の心配をしていない。
●「もう一つ」って、ちょっとするけど、「いっぱい食べたい。」ということが伝わる。
●「一つだけだよ」って、裏切られる言葉だと思ふ。
●ゆみ子は、おにぎりを「おじぎり」と言ってしまうくらいに窮い、なのに、お父さんが戦争に行っ
て帰ってこなくてかわいそう。
●「一つだけよ、おじぎり、一つだけよ、おじぎり」が印しようにのこった。
●「ええ、もう食べちゃったんです。——」→自分の食べる分がなくなっていく。
●「プラホームのはしげの、ごみすのうらなごころにわすれられてようさいていたコス
モスの花」→どこにもありそう。だけど、ゆみ子にとっては大切な花なんだと思った。
●「ゆみ、さあ、一つだけあげよう。一つだけのお花、大事にするんだよ——。」が心にのこ
った。いいなと思った。
○お父さんがわたしたち最後のプレゼントがコスモスの花というところに感動した。
●もう会えないかもしれないから、ゆみ子にわらってほしいと思うお父さんはやさしい人だと思った。
●「ミシンの音が、たえず速くつたりおそくなったり、まるで、何かお話をしているかのよう
に聞こえます。」→印しようにのこった。
●ゆみ子がっぱに育って小さなお母さんになったことが心にのこった。
●感動するいいお話だった。
●戦争でお父さんを失ったゆみ子がかわいそう。
●切ない。
●戦争がはげしかったころの人の気持ちがよく分かる話だと思った。

【気になったこと・ぎもん】 ?

●なぜ、題名が「一輪の花」ではなく「一つの花」なのか？
○なぜ、「一つだけよ、おじぎり」とゆみ子が言うようになったのか？
●なんでそんなに食べ物をほしがるのか？
●戦争に行くときに、ばんざいするのはなぜ？
●なぜ、他の人たちは、かたまっていて、お父さんだけが家族といえるのだろうか？
●「まるで戦争になんか行く人ではないかのように。」→お父さんはこわくないのだろうか？
●お父さんは、なぜ、ゆみ子に一輪のコスモスの花をわたしたのだろうか？
●コスモスをもらった後なのに、どうしてよごしたのだろうか？
○なぜ、お父さんは、何も言わずに、汽車に乗って行ってしまったのだろうか？
●「ゆみ子はお父さんの顔を覚えていません。」→お父さんは、死んでしまったのだろうか？
花をくれたときから、もう会っていない？
●「あのお母さんでしょうか。」→お母さんは生きてるのか？（せりふがないがらしき）
●ゆみ子は、もらったコスモスの花を、その後どうしたのだろうか？
●一つの花=コスモスの花 と 十年後の「コスモスのトンネル」のつながりは？
●「母さん、お肉とお魚とどっちがいいの。」のせりふは何のために書いてある？
○「今日は日曜日、ゆみ子が小さなお母さんになって、お昼を作る日です。」→一気になる。
分からない、なぜ、この文で終わる？
●何を伝えたいお話なんだろう？



課題

学びをつなぐ教師の関わり



“全体交流”で深める！



「個」の学びを「全体」の学びへ



必要感のある協働の学び

- 明確なゴールの意識
- 見取りとフィードバック
- タイミングを見極めた働きかけ
- 「話し合ってよかった」の積み重ね

子どもの「問い」を軸とした 4年「一つの花」の実践

ご清聴ありがとうございました。